

令和2年度 第3回防府市中小企業振興会議 会議録

日時 令和3年2月24日（水）午前10時から

場所 市役所2号館2階 会議室

出席委員 13名

欠席委員 1名

事務局 11名

1 開会挨拶

【市長】

本日は御多用の中、第3回の中小企業振興会議に御出席賜わり、また、色々な面で防府市の行政にお力添えいただき併せて感謝申し上げます。

前回10月の会議においては、令和2年度の予算の執行状況とコロナウイルス対策についての御意見や中小企業振興基本計画暫定版についての御意見をいただき、これらの御意見を参考に、12月補正予算、令和3年度の当初予算等に反映した。

本日は、これまでのコロナ対策の状況、12月補正予算の内容、当初予算の内容について忌憚のない御意見を賜り、今後の参考にさせていただきたい。

また、防府市中小企業振興基本計画（暫定版）の最終版について承認させていただきたい。

コロナについては報道等されているが大変な状況である、ワクチン接種は、防府市も医師会と一緒に対応していく。ワクチンを確実に受けていただくことがコロナ対策になると考える。

今後も、御意見をお聞きしながら防府市の中小企業の振興に努めるため御協力賜りたい。

○ 会議成立の報告

14名の委員中13名の出席であり防府市中小企業振興会議規則第3条第2項の規定に基づき、本会が成立していることの報告。

○ 会議の公開

防府市中小企業振興会議規則第3条第4項の規定により、公開とする旨の報告。

○ 令和3年度当初予算案の概要

【市長】

～ 令和3年度当初予算（案）の概要により説明 ～

【会長】挨拶

御多忙の中、令和2年度第3回会議にご出席いただき感謝申し上げます。

昨年の今時分、この会議の中でやっとコロナについての話題が出てきたところであり、今後パンデミックが起こる可能性があるということで、市には柔軟な対応をしていただきたいと御要望を申し上げたことを記憶しているが、すばらしい対応をしていただき被害も少なく

済んでいると認識している。

昨今、G o t oキャンペーンの中止、緊急事態宣言などにより、感染者数が全国的に減少している。ワクチン接種も開始されたところである、特にワクチンは予想以上に効果が高い、安全性が高いということで一安心しているところだが、ワクチンが国外からの供給であるということ、変異株がどうなのかなど、まだまだ予断を許さない状況と考える。

そのような中、例えばそのワクチンによって集団免疫ができるということについてはまだ時間がかかる、そういうことも想定して考えていかなければならない。

この一年間、コロナのことについて、我々も頭を悩ませてきたが、少し出口が見える可能性が出てきた。

コロナが終息したからそれでよいということではないと、私は認識している。

ひとつは、パンデミックのリスクは近年大変高まっている、地球温暖化によりシベリアの凍土が解けてその中の人類が未だ見たことがない何億年前のウイルスが流行するのではないか、炭そ菌が確認されているとか。製薬事業などで未知の物質を求めていくなど、このことは人類にプラスの面もあるがリスクもある。今後、パンデミックが一定頻度で起こってくることを想定しなければいけない。

そういうことから考えると、今回のコロナの対応が終わったということで、終わりではなく、我々は、起こりうることに對してどういう対応をしていくのかというノウハウをきちんと蓄積して次回に備えていくことだったり、気候変動だったり、A Iであったり、デジタルトランスフォーメーションなどに対応していくなど、ポストコロナを見越した中小企業のすることを考えていかなければいけないと思っている。

単に一年二年のことではなく長期のことを見据えた防府市の中小企業、企業の在り方等を考えながら防府市の基本計画を作っていかなければならない。

皆さんの御活発な御意見により良いものを作っていきたいと考えている。

2 令和2年度補正予算による新型コロナウイルス感染症対策及び令和3年度中小企業振興施策（案）について

【事務局】

～ 令和2年度補正予算による新型コロナウイルス感染症対策について ～資料1
それぞれについて、説明後委員の御意見を賜りたい。

【A委員】

私は、中小企業の販売業だが、先ほど補助金等いろいろ出てきたが、やはり、生産業や製造業に手厚く、販売に特化した我々のような業種ではなかなか手が付けられない感覚である。

これをどうにかしろというものではないが、今後考えていかなければいけないのは、経営相談にも関係するが、今ある事業ではない新たな事業へシフトする相談とか、思い切ったシフトチェンジ、チャレンジに対してアドバイスができる窓口が有れば良いのではないかと。

【市長】

今も総合相談窓口を防府商工会議所と開設しているが、やはり、中小企業の業態変更とかそういうものに対応していかなければいけないと考えている。

国の方でも色々な制度をやっている中で、市のレベルではなかなか難しいが、今委員が言われたように、相談体制ということだと考えている。

この会議の中でも、デザインプラザの話もありましたが、デザインプラザについては、理事会と評議員会の方で、来年の1月1日をもって解散することになった。

そしてただ解散ではなく、創業などの支援体制の拠点となるよう、業態変更などにも対応できるような窓口を開設したいと考えているので、来年には形が示せると思っている。

【B委員】

色々市の方で対策していただき、助かっている企業は多いと思う。

疑問に思っているところがあり、例えば、事業継続緊急支援給付金というのは、飲食、観光、理美容業と選択されているが、この業種に選択された経緯を知りたい。また、今後、他にこの業種が痛い目に合っているというところがあれば教えていただきたい、また、それに対して何か支援があるのか。

【事務局】

事業継続緊急支援給付金については、この当時は、飲食、観光理美容業に対して行っているが、関係団体等からお話をお聞きし、当時はその業種に一番緊急的に支援が必要だということで、5月補正ではこれらを対象とした。

当然これらの業種以外にも支援が必要だという状況が見えたため、業種については縛りを設けずに、事業費の4分の3、上限60万円、また衛生対策の場合は30万円の上限額で農業も含め全業種に、新たな感染対策への取組や、事業展開をするなどに支援させていただいた。併せて、プレミアム商品券ということで消費喚起、小売業などへの支援ということで発行した。

現在、市内で特に冷え込みがある業種としては、防府商工会議所との話しの中でも、やはり、Gotoトラベルの中止による旅行業、冠婚葬祭に関連する業種、日中の飲食はそれなりにあるが、宴会や接待を伴う夜の飲食業などについては冷え込みがあるということで、支援が必要とは考えている。

新たな業態転換で補助金も用意しており支援していきたいと考えている。

【C委員】

私自身、給付金や補助金など使わせてもらっている。

自分の事業の業態転換のために役に立てさせていただいた。

個人企業では、自分のさじ加減でどうしていかかが決められるため、柔軟に考えられるが、従業員が多くおられる会社では、固定費がかかるため厳しいのではないかと。

【D委員】

中小企業、零細企業含めて、本当の声をどこまで深く聞き取れたかということ。業種・業態関わらず、表に出た部分だけの業種にどうしても集中している。国も市もそうだが、もっと深いところで、本当に困っているが声を表に出していないところがある。そういうところを含めて、商工会議所や金融機関がもっと声を吸い上げていただきたい。

すべてに支援は難しいが、傍から見るとどうしても偏っているように見える。しかし、まんべんなくというのも難しいと思う。どんな形で今の危機を乗り切るか、コロナをきっかけに廃業を考えているところ、廃業できるところ、さらにマイナスが膨らむところなど大きな転換期と思う。

特に事業継承、コロナを言い訳にした廃業、本音のところではこういう企業は多い。それが、マイナスの状態であるのか、余裕を持って片付けるかの違いはある。

そういう声を聞くことは難しいが、現に有るので、そういう本音の部分意見を聞きだして、予算を使っていただきたいという要望をする。

【市長】

昨年の4月13日に総合相談窓口を開設したが、私は毎週そこに行っているが、聞けない声はどうしようもないところでもある。

そのような中、緊急対策は昨年の4月から6月。

これからは日常化するので、業態転換しなければいけない、今を乗り越えなければいけないということで、今回、頑張る事業者応援事業を新規事業とした。

これについては、業種は全てとし、業態転換やデジタル化など、何かをしなければいけないと考えられている方に、4分の3の補助率で上限30万円、業種を絞らずに予算計上した。

【会長】

今の議論で、一番大きいのは、どこに集中的にお金を投下していったらよいのかということで、防府市ということではなくて、特定の業種に絞られていると、例えばイベント関係ではどうなっているのかとか、多くの中小企業の経営者が高齢化している、これを機にということがおこってしまう。そういうところについてはどうしていくのか、そういうニーズを細かく拾うと同時に、どのようにこういう人たちに、こういうものがあるということを伝えていくのか、さらなる努力が求められているのではないかとということ。

【E委員】

総合相談窓口を開設して件数的には2000件を超える相談を受けている。

来られる方が、防府商工会議所の会員以外の方が多く、また、はじめて相談に来たという方が多い。今回総合相談窓口を設置した関係でそういう面で効果があったし、今からが業態転換ということも含めて、この窓口の力が発揮されるのではないかと考えている。

今後も色々な情報を入手し、それを伝えていくということができるようになりたいと考えている。また、今後も情報を収集し市と連携して色々な施策に反映できればと考えている。

【事務局】

～ 令和3年度中小企業振興施策（案）について ～

資料2、資料3

【F委員】

全体を通してだが、非常に充実していると感じた。ただ、これを色々な事業者に周知する、

活用できるようにすることが、地域の金融機関の役目だと改めて思ったところである。

【G委員】

予算額について、対前年比はわかるが、根拠づけがよくわからない。工場等設置の関係では大きく数字が変わっていて、テクノタウンの関係なのかと推測はしたが、その他は大きな変化は、見られないように見える。

借入関係の保証料などがあるが、借り入れに対しては今後返す必要があるもので、問題の先送りとなっているが、コネク22などと共に、金融機関も一緒にサポートしていかないといけないところであるが、補助金や助成金については理解されている人はよく利用されるが、全く知らない企業もある。その辺で、コネク22も使えると思うので引き続きこの体制でやっていただければと思う。

【会長】

今の金融機関としてのお二人の御意見では、基本的にはこれでよいが、情報は伝える努力はしているものの、状況が状況だけにまだ伝えきれていないところも見受けられるということ。

お金を出すということだけではなく、ノウハウや、企業が状況を変えていくための支援が必要と考える。

【H委員】

コロナ対策の時にも聞いていて思ったことだが、私は一体どの補助金があてられるのか、先ほどから周知させるという話もあったが、それを選ぶのが、一生懸命読み込んで、いまの目先の対応に追われている人は、相談に行くことも時間がないのではないかと思う。

例えば、選択チャートというのか、業種、状況、設問があって、選択していくとこの中（補助金等）でどれが当てはまる、相談に行ったらどうでしょうか、そういうものがあれば、少しは行ってみようかなと思えるのではないか。

【事務局】

ただ今選択チャートについては、国や県などのホームページなどを見ると確かにそういうものが有るので、参考にしてできる限り作っていきたい。

また、市政相談課では企業者向け、個人向けに一覧表は作っているが、チャート式ではないので、今の御意見を参考にしてわかりやすい情報発信に努めていきたい。

【会長】

ひとつは、飲食店街やイベントのこと、PCR検査が自由にできるようになってきた、国全体を見た時の検査能力や実施の機会が増えてきたという状況である。

よく、経済とコロナ対策をどう両立させるか、頭の中では対立関係で捉えられていると思うが、経済学でいくと、決してそんなことはなく、経済というものは市場活動で、その市場活動になぜみんなが参加するのかということ、安心してメリットがあるからということ。

安心してあるところが毀損しているから経済活動を行わないということが経済学の基本

的な考え方で、どういうことかということ、イベントなどで今でも人数制限されているが、例えば店舗で50%しか入れないというものは確実に売り上げを50%減らしてしまうということ。

売り上げが50%減ということほとんどないことで、それをいかに減らしていくかということになっていくと、その経済活動が行われる場所がいかに安全安心な場所にしていくのかということに我々は直接的に働きかけていかなければいけない。

そうすると、何回もPCR検査をして安全安心だと思われる人たちが入って、しかも、厚生省の接触確認アプリなどのITを使って、どこにおられるかが確認できるようにして万が一の時には連絡が入るなどということをやっていく。

そういうイベントのやり方のノウハウを少しでも持つと、今度コロナだけではなく、何かあった時に、このノウハウを使っていくことができる。

是非ともそういうことにチャレンジしていただきたいというのが一つの希望である。

例えば、祭りとか、イベント、企業が集まって技術の展示会を行うという時には、数が来ないとイベントの効果が全然違って来る、そういうところから、参加される方、出店される方にもPCR検査がされていて安心でいざとなれば連絡が付くという状況を少しでも作っていくことが必要ではないか。

そういうところに、商店街のイベントの予算などを向けられないのかということが一点。

それと、ITとその取り組みはいいのだが、防府市の産業構造を考えた時に、中小企業が大手企業と関連しているところがある、何度も言うが、大手企業が撤退したときには大きな影響を受けるということを考えた時に、インフラを中心にかなりの投資がなされるということは結構なことだが、ハード面の競争だけではなく、ソフト面での競争、こちらの方がむしろ重要になってくるのではないか。

防府の中小企業と協力してやっていくと非常に生産性が高い、また、ここにはマザー工場を作ると、そうすると、世界に展開するマザー工場が防府にあるから、そこ（防府）とやっていくという状況、防府市の中小企業施策の中にそれがうたわれて、大企業にそれがアピールできる状況を作っていくことが、かなり重要なことではないかと考えている。

ハードだけではなく企業間のネットワークでやっていくことを、構想は持たれていると思うが、もっと前面に出されたらと思う。

【市長】

貴重な御意見感謝申し上げます。

いま会長から御意見があったが、ソフト面でも、市だけではなく、商工会議所や金融機関の皆様御意見を聞きながら、やっていかなければならない、ハード面においても、国道2号で台道の方面などかなり大きい問題があるのでしっかり取り組んでいく。

市内の道路網についても、南北が混雑するということがあるため最低限何とかして、ソフト面では、関係者に聞きながら進めていきたいと考えている。

そうした中で、イベントのことがあったが、まさに会長が言われる通り。

防府市では昨年、マラソン大会を開催させていただいた。規模は縮小したが、東京マラソン、大阪マラソン、また視覚マラソンの関係者の方にも来ていただき、今回の防府市の大会運営の対策が陸連から評価され「エリート・ラベル」をいただき、福岡国際マラソンと同じ

レベルとなった。

そういうことを大規模なイベントでも活用していきたいと思っている。

色々なイベントも、コンベンション協会と一緒にやってやっているが、コロナ対策をしているということで、安心して来ていただけるということをやって参りたい。

それから、各委員からありましたが、施策の周知ということ、これが本当に大きな課題であり、なかなか現場に伝わらない、知っている方は何回もうまく使っている、使うことができるということがあると思われる。今回、(総合相談) 窓口を設置したが、来られた方が、「こんなものが有ったのか」と中には、市しかないと思っている方もおられる。「国や県にはこういうものが有ったのか」ということがある。国、県、市で役割分担してやっているのだが、なかなか事業者の方がご存じないということがあり、総合相談窓口を作ってよかったとは思っているが、来てもらってはじめてわかるものであり、その周知というのは市としてもやっていくが、金融機関の皆様や商工会議所の皆様や委員の皆様のお力をいただいてしっかり周知してまいりたいのでよろしく申し上げる。

【事務局】

1点訂正です。先ほどの資料3の8ページ、施策の12番に新規で、再就職促進事業を記載しているが、正社員が対象と書いているが、非正規社員も対象としている。

【会長】

今回のパンデミック、リーマンショック、その前のアジア通貨危機の問題、ここで何が問題かという、リーマンショックの時は派遣社員が問題になったが、今回はシングルマザーの問題が出てきた。これは何かというと、基本的に、家庭の中心的収入を担っている人たちが、不安定な雇用状況下にあって、この人たちがすぐに収入が得られなくなって、家族もろともという状況がずっと続いている。

雇用政策になってここで議論するものかわからないが、そういう人たちを安定した雇用に持っていくということも進めることが重要と思う。

企業からすると、終身雇用のほかに、非正規雇用を置かないと企業経営が成り立たないところだが、この中に家庭の中心的収入を支える人たちがいると社会として非常に危ないと認識したうえで考えていただきたいと思う。

【事務局】

補足させていただく。この度の再就職促進事業は、非正規も含めて雇用される企業に最大3か月支援するもの。これは商工サイドで新たな事業で非正規の方も含めた新規事業、併せて福祉サイドでひとり親家庭の方々に対しては、例えば自立支援に向けた教育訓練給付金であったり、資格取得のための職業訓練給付金など、新たな資格を取ることにより正社員として就職するという従来からある福祉サイドの給付金もある。

また、この度は国の方からひとり親家庭には、一人あたり5万円の給付金などもあったところである。今後も、商工サイドの施策と福祉サイドの施策を併せて来年度、実施していきたいと考えている。

【市長】

今回、今まで正規だったのだが、最初から正規で雇うということには企業が躊躇される場合があるため、最初の3か月は非正規でも可能とし補助期間6か月としていますので、早く正規に切り替えていただきたいという意図と、現在の非正規の方を正規に変えるものも対象としているので、あくまでも正規雇用が行政の目標である。

3 防府市中小企業振興基本計画について

【事務局】

～ 防府市中小企業振興基本計画暫定版について ～ 資料4

防府市中小企業振興基本計画暫定版について説明後、委員の意見及び承認を賜りたい。

【E委員】

今言われたように、今回については、暫定版ということで行く方が、逆に良いのではないかと、3年度予算が、今を乗り越え、未来を切り拓く予算ということで、新年度予算では、業態転換など、未来を拓くということでやっていく。いまの計画は暫定版でやっていくことは良いと思う。

【B委員】

今のルルサス1階のシェアオフィスの利用状況はどうなのかということと、サテライトオフィスがあると思うが、いまシェアオフィスがない。

単純にネットがみられるというのではなく、本人がコロナで避難されてきて、会社として登記がしたいという時に、普通の事務所を借りると5万円くらいかかるため、シェアオフィスとして場所を提供していただき登記も可能であるということを作るような計画があるか。

【事務局】

1階では、社会実験をした場所ということで、社会実験はすでに終了しているが、学生の学習スペースとシェアオフィスとしての利用を見込んで実施したもの。

ルルサスについては、先ほど市長からも説明があったとおり、文化福社会館の機能移転や、今後は一体的な活用を今後考えていくということになっている。

併せて、デザインプラザ、山口・防府地域工芸地場産業振興センターが解散するということが、将来的には、デザインプラザの活用も今後の選択肢として考えていくことになるが、令和3年の12月末の解散となるため、その場合の利用は令和4年度からになる。

シェアオフィスについて、適地というのにはすぐにはないが、要望があるので今後考えていきたい。

社会実験の実績は今手元にないのでお答えできない。

【会長】

B委員が今言われているのは、例えば、大都市圏から地方へ移転する、人材の確保という点から質問されたのか。

【B委員】

実際にあった話、コネクト22経由であった話だが、IT関係だったため自宅でもできるのだが、対外的な信用のため郵送物などを受け取る場所を作りたいということ。

事務所紹介では金額が高くなるので、登記もできるシェアオフィスがあるのか、どのくらい利用があるのかも分からないためなかなか手も出せないのだが。

【会長】

設備の利用を促進するというよりは、人材の受け入れを促進し産業人口を増やしていくということで、非常に重要な視点だと思われるので、是非とも取り上げていただきたい。

【I委員】

重点施策の5の事業承継と円滑な事業廃止の最後の方に、「規模拡大を目指す事業者とのM&A等も視野に検討できる相談体制を整備する」とあるが具体的に何かあるのか。今のところ、金融機関からの案内ばかりなので、何か違った視点でそういう場があればと思っているが。

【事務局】

いま、具体的に予算には計上していないが、この計画が承認されれば、今後必要ということで検討したい。

【J委員】

補助金についてだが、当方には、よく国の補助金についての問い合わせが多いが、国の補助金は要件が厳しく、中小企業にとっては使いたくても使えないという場合が多い。

市の補助金にも国の補助金と同じようなものが有るが、運用については、要件等を緩やかにして利用しやすいようにできたらということ要望したい。

【事務局】

国の方では、件数が多かったりするため審査は厳しくなっていると思われるが、市の補助金は、多くの事業者の方へ活用してもらうため、国や県の補助金の隙間を埋めるものや、ハードルを少し下げたもので考えている。

【会長】

今回は暫定版なので、ここに入れるかどうかはわからないが、この中に入っていない視点としては、SDGs、カーボンニュートラルというところ、日本国としては2050年を目標としているが、具体的には2030年までにはどうするのかということ。

これは、グローバル企業は関連会社までそれを求めてくるため、中小企業といえどもこれに対応していかなければならないということもある。また、これを先んずればするほど、取引の機会が多くなっていくということなので、このことを暫定版の中に入れるのか、この次の計画の中に入れるのか、もしくは、暫定版に言葉だけ入れていくのか、色々なやり方はあるがぜひこのことも、何らかの形で入れていただければと思う。

【H委員】

一つだけ、用語の解説だが、新たに、デジタルトランスフォーメーションが入っているが、「人々の生活をより良いものへ」というよりも、これは中小企業振興計画の中のことなので「デジタルトランスフォーメーションを浸透させることによって、企業のビジネスモデルの計画で競争力を高める」という感じで、企業を入れた説明をしていただきたい。

【事務局】

今の御意見を参考とし、企業の視点で用語解説の修正を検討したい。

【会長】

今の御意見は、本質的な問題が隠れている。実はデジタルトランスフォーメーションを行うと、ほとんどの中小企業が競争力を失ってしまう可能性が非常に高い。

企業の特殊知識や特殊技能や地域の固有性というものを使って、他の地域の企業では勝てない何かを一緒に作っていかないと、デジタルトランスフォーメーションによって逆に産業力が弱くなってしまうということがあるので、そこは、防府商工会議所等の関係機関と一緒に進めていただきたい。

それでは、防府市中小企業振興基本計画暫定版については、当会議としては、今の意見を計画に反映させることを前提に承認させていただくということによろしいか。

【全委員】

異議なし

【会長】

それでは承認さとさせていただく。

4 その他

【会長】

その他何かあるか。

【D委員】

予算の概要の31ページ、左下の文化福社会館機能の移転に1億7800万円ついていますが、結構な金額であるが、どういう費用が多く必要なのか。

それと、色々な機能がルルサス防府へ入っていくように見えるのだが、ルルサス防府の運営主体、どういう機能なのか。

【市長】

今回、文化福社会館機能の移転ということで、(移転場所と考えている)ルルサスの場所は市の持ち分部分ではないため、新たに購入しなければならないということで、その購入費

用が一番大きい。それと中の改装費用経費となっている。

ルルサス防府は、地域振興株式会社と会社（周防夢座）が持っているため、（文化福祉会館機能が移転する場所は）、そこから購入することになる。

【会長】

それでは、事務局へお返しする。

【市長】

～ 閉会の挨拶 ～

本日は長時間にわたり御審議していただき感謝申し上げます。

防府市中小企業振興基本計画には、会長から御意見があった、カーボンニュートラル等についてもこの計画の中に入れてまいりたい。

E委員からも御意見があったが、コロナ禍がおさまれば、中小企業を取り巻く環境も大きく変わると考えているため、それに対応した計画にしていきたい。

B委員より、シェアオフィスという御提案をいただいた、これについては、現時点では具体的な計画はないが、ルルサス防府2階のことも踏まえ、来年には形に示していきたいと考えている。

J委員からの補助金の適用を緩やかにということについては、あくまでも市の事業のため、市内の中小企業者の立場に立った補助金、施策の運用をしてまいりたい。

コロナ禍で色々困難な時ではあるが、市といたしましても、しっかり中小企業対策に取り組んでまいりますので、これからも、委員の皆様の、お力添え、御協力をお願い申し上げます。

【事務局】

以上で、令和2年度第3回中小企業振興会議を終了する。

会議終了 正午